

核兵器と安全保障を学ぶ広島－ I C A N アカデミー 2026 の開催について

1 要旨・目的

将来、外交官や国連職員、国際NGO職員などを目指す若者を対象に、核兵器がもたらす人道的影響、及び、核兵器と国際安全保障をめぐる政治的・法的・技術的側面、市民社会の取組、核兵器廃絶と安全保障のための外交及び国連の役割等に関する講義を通して、核兵器廃絶と国際平和を希求する意識を醸成するとともに、各分野で活躍するために必要な専門知識を提供することにより、核兵器廃絶と国際平和の実現のために具体的に貢献することができる人材の育成を図る。

2 現状・背景

広島県と核兵器国際キャンペーン（I C A N）が人材育成に関する覚書を交わし、両者が実行委員会を設置して令和元（2019）年から開催しており、今回で8回目の開催となる。

※令和2（2020）年、令和3（2021）年は、オンラインのみで実施。（新型コロナウイルス感染症拡大のため）

※令和8年3月に（一社）へいわ創造機構ひろしまが実行委員会に加入

3 概要

(1) 実施主体

核兵器と安全保障を学ぶ 広島－ I C A N アカデミー実行委員会
（広島県、（一社）へいわ創造機構ひろしま、核兵器廃絶国際キャンペーン（I C A N）が組成する実行委員会）

(2) 募集人員

20名程度の学生もしくは若手実務者（核兵器国10名、非核兵器国10名）

※「核兵器国」とは、核兵器不拡散条約（N P T）に規定する核保有国（中、仏、露、英、米）及びインド、パキスタン、イスラエル。

「非核兵器国」はそれ以外の国々とする。

(3) 開催日程

第1部 「オンライン・ラーニング&ウェビナー・セッション」（オンライン講義）
核兵器や安全保障について、各分野の専門家等の講師から、オンライン講義を受講。

◆実施日 : 6月16日（火）～7月3日（金）（期間中に5回程度実施予定）

◆実施形式：オンライン

第2部 「広島セッション」（広島市内での宿泊研修）

被爆証言の聴講や実地研修等を、広島市内にて対面で実施。

◆実施日 : 11月3日（火）～7日（土）（5日間予定）

◆実施形式：対面（広島市内にて実施）

第3部 「オンライン・リフレクション・セッション」

広島セッションの成果を踏まえて、今後の個々の活動について意見交換。

◆実施日 : 12月11日(金)(1回予定)

◆実施形式: オンライン

4 研修内容

(1) 核兵器の人的影響

被爆者との交流、平和記念資料館・平和記念公園見学、外国人被爆者の専門家による講義等

(2) 現在の核リスクと将来の核リスク

安全保障技術の専門家による講義等

(3) 核兵器の社会・経済・環境への影響

グローバル・ヒバクシャや安全保障政策の専門家による講義等

(4) 国連と市民社会の役割

国連軍縮部(UNODA)職員による講義、NPO・NGOの取組に関する講義・ワークショップ等

5 予算(単県)

9,400千円

6 参考

国際平和拠点ひろしま ホームページ(広島-ICAN アカデミー)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimaforpeace/prog-ican-academy.html>